

バイオ系のキャリアデザイン

就職支援 **OG OB** インタビュー編

Interview ①

中外製薬株式会社 研究本部 バイオ医薬研究部

セーボレー那沙



出身大学・卒業年度：東京農工大学大学院 工学府生命工学専攻 2014年9月 博士後期課程修了
博士論文タイトル：Aptamer *in silico* maturation法の開発：*in vitro*の機能評価と*in silico*の配列組み換えに基づくアプタマーの機能改良

「現在の仕事について」

◆担当職務

革新的な抗体医薬の技術開発および探索研究

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

2015年4月に入社以来、自社の抗体改変技術や抗体ライブラリを駆使して、創薬候補となるリード抗体取得に取り組んでいます。入社3年目には新規抗体技術開発のプロジェクトリーダーに任命され、シンガポールのグループ会社である Chugai Pharmabody Research (CPR) と共同して競合優位性の高い抗体技術開発に取り組んでいます。

◆そこでのやりがい

グループ会社の Roche や Genentech, CPR の研究者と議論しながらグローバルな視点で創薬研究に向き合うことができます。若手の研究員にも分子設計や創薬・新規技術提案、プロジェクト推進などのさまざまなチャンスが与えられているため、責任も大きい反面、研究プロジェクトに主体的に関わることができています。

◆現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力

30年以上前からバイオ医薬品の研究開発に取り組み、独自の抗体技術を相次いで開発。低分子医薬品も含め、FDA から3品目で6つの Breakthrough Therapy 指定を受けるなど、世界有数の創薬レベルを確立しています。所属している部署は、抗体の探索から物理化学分析、薬理評価まで一貫して実施しているため、研究の視野が広がり、研究者としての成長につながっています。

◆現在の就職を決めた理由

創薬に携わりたいという思いが強かったことと、研究や技術開発をビジネスの視点で行いたいと考えていたためです。抗体技術に強みがあり、グローバルな研究環境が整っている中外製薬に就職を決めました。

◆将来設計（描けるキャリアパス）

現在従事しているプロジェクトを成功させ、プロジェクト推進やチームのマネジメントに関わっていきたいです。

◆挑戦したいと思っていること

発明者として、自分の提案したアイデアをもとに特許出願を行いたいです。そこから立ち上がった研究プロジェクトをグローバルに展開するのが目標です。

◆社会人として一番感動したこと

入社3年目に参加した国際学会で、世界中の製薬会社の研究者と対等に議論できたこと。Roche や Genentech の研究者との会食で和気あいあいと対話できたこと。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

まだ大きな困難には直面していませんが、国際学会出張やシンガポール出張、新規プロジェクト提案が続いた際には、チームで協力して業務をこなすことができました。協力し合える人間関係や組織の構築が重要だと感じています。

◆仕事のプロになるコツ

楽しく仕事をする。中長期的な目標を定め、それに向かって自分のスタイルで仕事を進めること。何事にも謙虚に取り組み、同僚を大切にすること。

◆博士力、どこで発揮していますか？

本質的な課題発見、解決方法の提案が求められる場面で発揮しなければならないと思っています。一人の研究者として、どのような場面でも臆せず議論できていると思います。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

自分の仕事の成果を世界に届けて、人々の健康に貢献できた実感するため。挑戦を続けて自分の成長にもつな

げたい。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

息抜きと家族のため

◆ワークライフバランスで工夫していること

仕事もプライベートも楽しんでいます。平日でも、朝か夜に子供と接する時間をしっかり持つようにしています。

◆現在の夢

子供が誇りを持ってくれるような仕事をし、素敵なお父さんだと思ってもらえるようになること。

「後輩へ」

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること
研究室での生活も大切ですが、少し休みをとって旅行に行ったり家族と過ごしたり、社会人にはできないような時間の使い方と経験をしておいても良かったなと思っています。

連絡先 E-mail: savory.nasa94@chugai-pharm.co.jp

Interview ②

サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社・水科学研究所

矢野伸二郎



出身大学・卒業年度：東京大学大学院工学系研究科・2015年 博士号取得 博士（工学）
博士論文タイトル：人間活動が世界の水資源に及ぼす影響と持続可能性の評価に関する研究

「現在の仕事について」

◆担当職務

- ・水循環の理解と水のサステナビリティ向上
- ・ヒト生体内の水動態理解と健康との関連解明

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

2007年入社以来、水源の水循環解明に関する研究に従事。2011年より東京大学受託研究員を兼任、全球規模での水の持続可能性に関する研究に従事。2016年より慶應義塾大学共同研究員を兼任、シミュレーションを用いた全身の水動態理解に関する研究に従事。2018年より国連大学客員研究員を兼任、水循環の健全性評価に関する研究に従事。

◆そこでのやりがい

自分の専門分野をベースにしつつも、異分野の研究に挑戦できることです。工学、理学、農学、環境学、医学、微生物学などの多彩な専門家と連携させていただき、日々強烈な刺激をもらっています。また海外グループ会社とのやり取りを通して異なる水の文化に触れ、多くを学んでいます。

◆現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力

未来を切り拓く夢のある研究に思いっきり打ち込ませてもらえるところです。ワクワクする未来について真剣に議論してくれる多様な人材がいるのも魅力です。

◆現在の就職を決めた理由

参加した説明会で、運命を感じました。

◆将来設計（描けるキャリアパス）

日々迷ってしまうほどたくさんの可能性があり、自分次第で無限に広げられると思います。

◆挑戦したいと思っていること

ものすごく身近だけれど不思議なことも多い水について、真摯に向き合いすべてを解き明かしたいです。

◆社会人として一番感動したこと

上司から「それは人生をかけるに値する研究か」と問われたことです。以来、常に考えるようになりました。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

自分の役割が見えない数年間がありました。多くの人と出会い、視野を広げ、世界を広げ、がむしゃらにもがくことで少しずつ光が見えました。

◆仕事のプロになるコツ

専門分野に限らず多くの方の意見に耳を傾け、自分の考えを持ち、こだわり抜くことだと思います。

◆博士力、どこで発揮していますか？

「博士だから」ではなく、博士号取得にかかる研究で培った考え方、データの見方、世の中の見方、構想のしかた、人脈が重要で、これらはあらゆる場面で発揮できます。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

楽しむためです。自分が好きなこと、会社が求めること、社会に貢献できることが一致した時のやりがいは何ものにも代え難いです。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

両親が自分に投資してくれた分を、次の世代に返すためです。教育は未来を創ります。

◆ワークライフバランスで工夫していること

裁量労働制、テレワーク、子育てに関する特別休暇など、会社の人事制度を最大限活用しています。生産性を極限まで高めてメリハリのある仕事ができれば、ワークもライフも全力で楽しめます。

◆現在の夢

誰もが知っているような大きな成果を創出する研究者と

なり、かつ未来を語るリーダーでありたいと思っています。宇宙飛行士にもなりたいですね。

◆将来の展望

企業研究者だからこそできることで、よい会社と社会に貢献します！

「後輩へ」

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること
外の世界を知ること、特に海外経験です。

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

一度きりの大切な人生を本気で楽しみましょう！ガンジーの言葉がそのヒントだと思っています。Live as if you were to die tomorrow. Learn as if you were to live forever.

連絡先 E-mail: Shinjiro_Yano@suntory.co.jp